

復興道路《三陸沿岸道路》

みなみさんりく しづがわ みなみさんりくかいがん  
「南三陸道路（志津川IC～南三陸海岸IC(仮)）」が、  
平成29年3月20日（月）に開通します！

国土交通省が整備を進めてまいりました「南三陸道路」の「志津川IC～南三陸海岸IC(仮)」が3月20日（月）に開通する見込みとなりましたので、お知らせいたします。今回の開通は、三陸沿岸部を北伸する開通となります。

《トピック》

- ①津波浸水区域を回避し、信頼性の高い高速ネットワークが形成されます。
- ②石巻赤十字病院および南三陸病院への速達性向上が期待されます。
- ③地域の基幹産業である水産加工関連企業集積エリアに直結し、水産業の復興を支援します。

1. 開通区間

南三陸道路（志津川IC～南三陸海岸IC(仮)） 延長3.0km

2. 開通日

平成29年3月20日 月曜日

※当日の開通時刻、開通式典等については、後日お知らせいたします

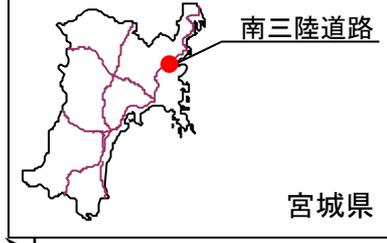
※南三陸道路は、自動車専用道路であり、歩行者、自転車、軽車両、125cc以下の二輪車は通行できません

<記者発表会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、石巻記者クラブ、気仙沼記者クラブ>

【お問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 TEL 022-248-4131  
副所長 おりかさ とおる 折笠 徹 （内線205）

みなみさんりく しづがわ みなみさんりくかいがん  
 三陸沿岸道路 南三陸道路(志津川インターチェンジ～南三陸海岸インターチェンジ(仮))  
 位置図



登米志津川道路 延長16.1km

南三陸道路 延長7.2km

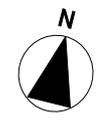
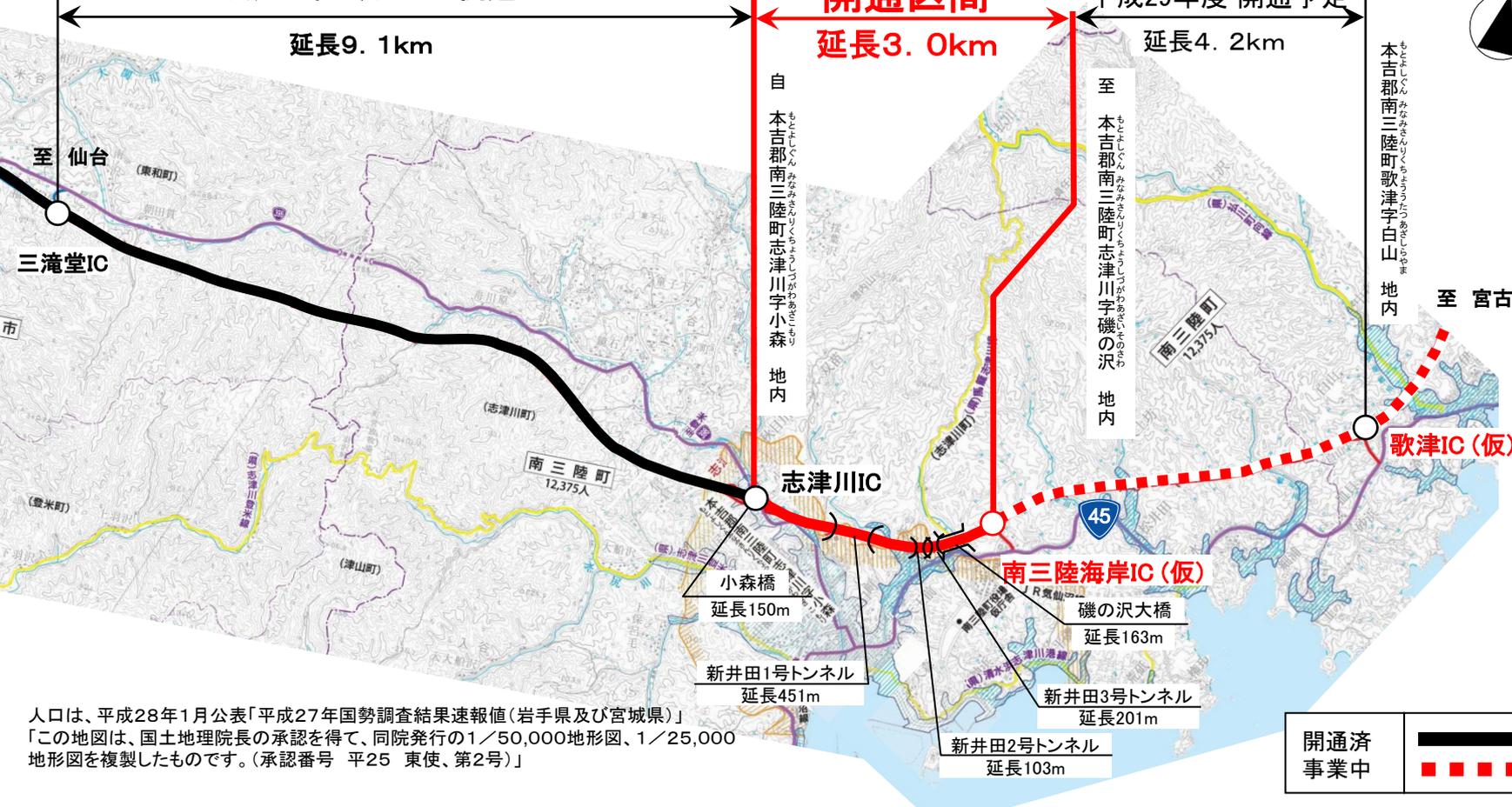
平成28年10月30日 開通

開通区間  
延長3.0km

平成29年度 開通予定

延長9.1km

延長4.2km



人口は、平成28年1月公表「平成27年国勢調査結果速報値(岩手県及び宮城県)」  
 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の1/50,000地形図、1/25,000  
 地形図を複製したものです。(承認番号 平25 東使、第2号)」

開通済	
事業中	

# [南三陸道路] 津波浸水区域を回避し、信頼性の高い高速ネットワークを形成

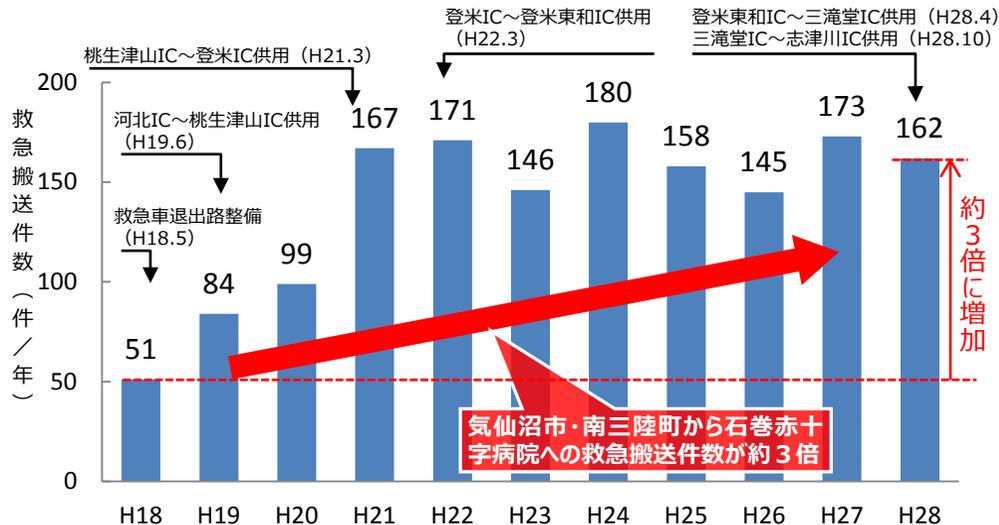
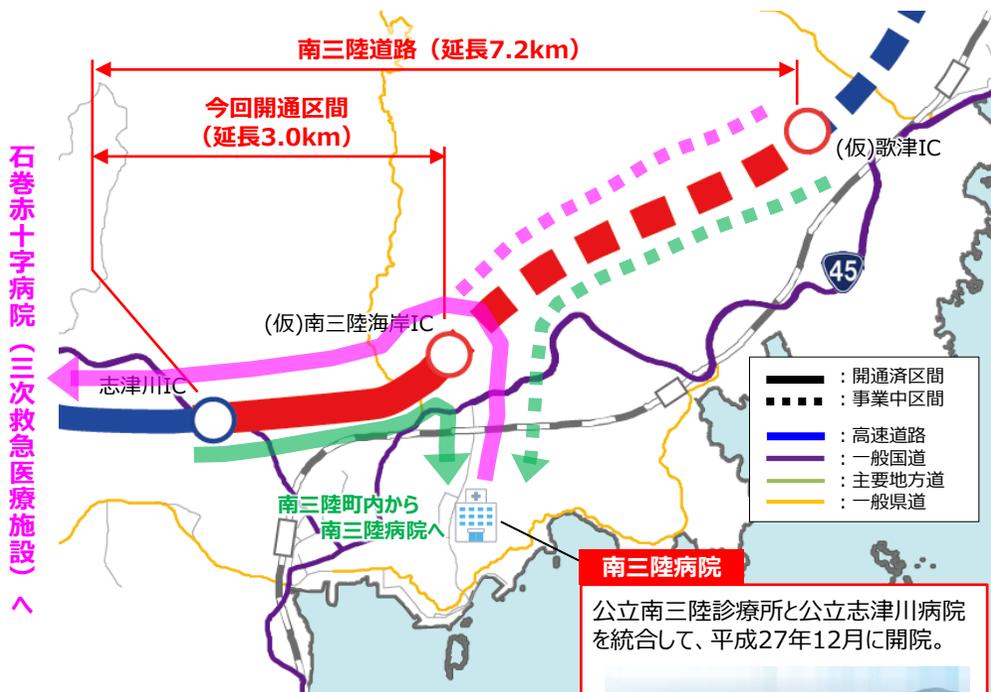
- ◆東北地方太平洋沖地震（H23.3.11）では、南三陸町志津川地内において、津波により道路が浸水し、交通ネットワークが寸断
- ◆南三陸道路の整備により、津波浸水区域を回避でき、災害時にも緊急輸送路として機能する信頼性の高い高速ネットワークを確保
- ◆高台に位置する南三陸道路は、津波等の災害時の避難場所としても活用可能



▲東日本大震災時における国道45号の通行不能区間および志津川地区の指定避難所等

# [南三陸道路] 石巻赤十字病院および南三陸病院への速達性が向上

- ◆平成27年12月に開院した南三陸病院は(仮)南三陸海岸ICの至近に立地
- ◆南三陸道路を含めた三陸沿岸道路の整備により、南三陸病院、石巻赤十字病院への搬送時間が大幅に短縮、走行性も向上
- ◆迅速かつ安定的な救急搬送が可能となり、地区住民の安全・安心な生活に大きく貢献



▲気仙沼市・南三陸町から石巻赤十字病院への救急搬送件数

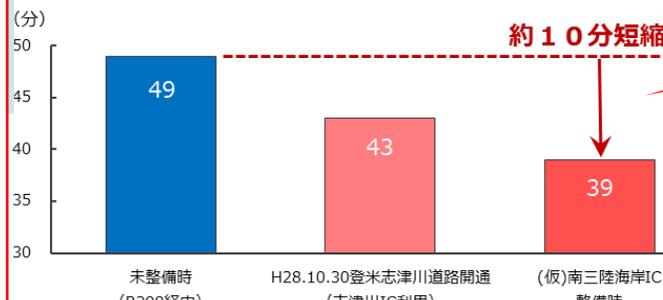
資料：気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部ヒアリング結果

国道45号はカーブが多く、見通しが悪いです。カーブが多いと救急車の横揺れが大きくなるため、ドライバーは運転に神経を使います。また、歌津～志津川付近では路面凍結時に大型車が登れず渋滞が発生することもあります。高速で、線形も良い高規格の道路が整備されると非常に助かります。(気仙沼・本吉消防本部ヒアリング結果)

公立南三陸診療所と公立志津川病院を統合して、平成27年12月に開院。



出典：南三陸町の復興とこれからの歩み (H28.3)



▲南三陸病院から石巻赤十字病院までの所要時間

資料：H22道路交通センサス

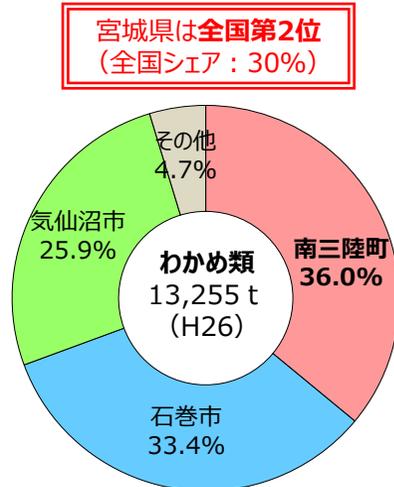
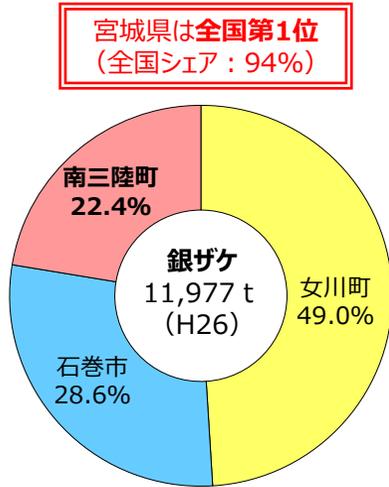
平成28年度中に救急搬送時間が「約10分」大幅に短縮。

H28.10登米志津川道路全線開通に続き、南三陸病院から石巻赤十字病院への搬送時間がより短縮されることで、町民の安心・安全性の向上が期待されます。(南三陸町ヒアリング結果)

▲石巻赤十字病院・南三陸病院への搬送ルート

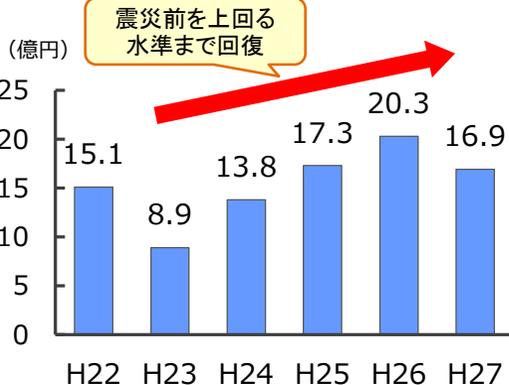
# [南三陸道路] 地域の基幹産業である水産加工関連企業集積エリアに直結、水産業の復興を支援

- ◆南三陸町は、銀ザケ、わかめ等の養殖業や水産加工業が盛ん。東日本大震災により南三陸町の水揚高は大幅に減少したが、現在は震災以前を上回るまでに回復
- ◆水産加工関連企業は(仮)南三陸海岸ICに直結して立地。南三陸道路の整備により、水産物等の輸送時に、混雑する市街地を回避することができ、輸送効率化・品質向上が図られ、基幹産業である水産業の復興を支援



▲宮城県の養殖魚種別収穫量

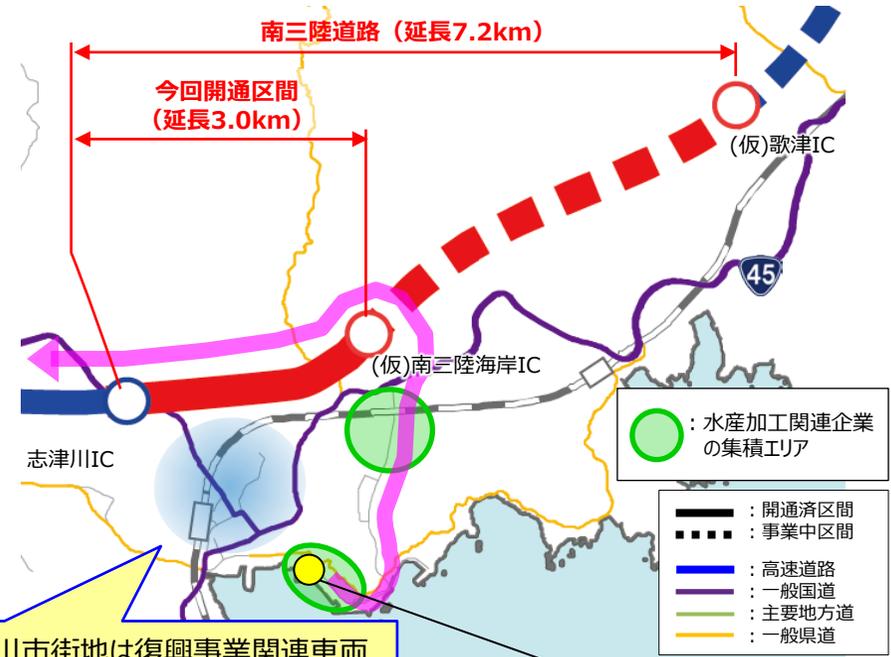
資料：平成26年漁業・養殖業生産統計



▲南三陸魚市場の水揚高推移

資料：水産物水揚統計(宮城県)

大消費地である**仙台市への輸送時間が短縮し、高品質な状態**で届けることができます。また、三陸沿岸道路の延伸により南三陸町へのアクセス性が向上し、各地から仲買人が集まるようになれば、**卸売価格の上昇**が期待され、市場の活性化につながります。  
(宮城県漁業協同組合 志津川支所ヒアリング結果)



志津川市街地は復興事業関連車両等で混雑が発生

▲志津川市街地の交通混雑状況

**南三陸町地方卸売市場**

平成28年6月に再建。活魚関連の設備が充実しているほか、国際的な食品衛生管理方式HACCPに対応した高度衛生管理型施設として整備。